記者発表資料

平成２４年１１月２０日
庄内地区災害情報普及協議会
酒田河川国道事務所

大規模洪水を想定した危機管理演習を実施します
～国・県・沿川自治体合同による実践的な訓練を実施～

「庄内地区災害情報普及協議会」では、洪水による大規模災害発生時に対応出来るよう、赤川での洪水を想定したロールプレイング方式の危機管理演習を実施します。

訓練により、防災対策の判断・指導・実施が迅速かつ的確に出来るよう、防災担当職員の能力向上と沿川自治体との連携強化を目的として行うものです。

なお本演習では、関係機関として山形県、鶴岡市、三川町が参加し、当事務所と合同で演習を行います。

１．実施日時・場所

日時：平成２４年１１月２６日（月）１０時～１５時
場所：酒田河川国道事務所２階　合同対策室等
※ただし、当日災害などが発生した場合は、中止または順延となる場合があります。

２．参加機関

酒田河川国道事務所、山形県、鶴岡市、三川町　　総勢約６０名

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会、山形県建設業協会専門紙

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
〒998-0011　酒田市上安町1-2-1
ＴＥＬ０２３４－２７－３３３１（代表）
副所長(河川)　　阿部　富雄（内線２０４）
調査第一課長　　鴫原　吉隆（内線３５１）

ロールプレイング式危機管理演習とは

- 災害対策本（支）部の運営について効果的に訓練するための演習のひとつ（図上訓練）
- 実際の災害に近い状況（被害想定、演習シナリオ）を作り、災害を机上で模擬体験する。
- 訓練を仕掛ける側（指揮部：コントローラー）と受ける側（演習部：プレーヤー）に分かれる。
- 訓練を仕掛ける側の指揮部は訓練のシナリオを知っているが、演習部（プレーヤー）は訓練のシナリオを知らされていない。
- プレーヤーは、コントローラーが演ずる各関係機関からの情報を収集・整理・分析し、状況判断の上、なすべき行動を自ら判断し、指示や報告を受けるという一連の動きについて訓練する。

ロールプレイング法による演習のイメージ

